NYC Health
nyc.gov/health

ニューヨーク市保健精神衛生局

総合情報

ウエスト・ナイル・ウイルス情報シート

質問：ウエスト・ナイル・ウイルスとは何ですか？

答え：ウエスト・ナイル・ウイルス(WNV)とは蚊によって感染する病気で、人間、鳥、馬やその他の哺乳動物に感染します。人間へWNVが感染した場合、その殆どは軽いインフルエンザのような症状を示すか、症状が全く出ません。しかしながら、いくつかの事例では、特にお年寄りの方に、脳膜炎や髄膜炎等の重い神経疾患に陥ることがあります。ウエスト･ナイル・ウイルスが最初に北米に出現したのはニューヨーク市で1999年のことです。それ以来このウイルスはアメリカ本土に広がりました。(全国レベルでのWNVに関する情報はwww.cdc.gov をご覧下さい。)

質問：ウエスト･ナイル・ウイルスは、どのように広がるのですか？

答え：ウエスト・ナイル・ウイルスは主にウイルスを持った蚊に刺されることによって人間に感染します。2002年には人間によって感染する別の感染経路が見つかりました。ウエスト･ナイル･ウイルスはウイルスに感染した人間の臓器を移殖したり、或いは感染した血液、または血液製剤を輸血した場合も感染することが分かっています。また、2002年には妊娠した女性から胎児に感染したケースが 1 件、母乳からその子供に感染したケースが 1 件ありました。ウエスト･ナイル･ウイルスは、感染した人に触れたり、キスをしたり、感染した人を世話をしたりするなどの通常の接触では感染しません。

質問：ウエスト･ナイル・ウイルスはどこから来たのですか？

答え：ウエスト・ナイル・ウイルスはこれまでにアフリカ、エジプト、イスラエル、アジア、ルーマニア、ロシア、フランスで大量発生しました。1999年以前は、ウエスト・ナイル･ウイルスが西半球では発見されたことはありません。このウイルスは主にこのウイルスが蔓延している国から、感染した鳥や蚊などが持ち込まれたことによるという説が有力です。

質問：ウィルスを持った蚊に指されることでウエスト・ナイル・ウイルスに感染し、重症に陥るリスクが高いのはどういった人でしょうか？

答え：50歳以上、特に65歳を過ぎると脳膜炎や髄膜炎等の重症になるリスクが最も高くなります。免疫不全症の人がウエスト･ナイル・ウイルスへの感染によって重症に陥るリスクが高いかどうかはまだ判っていません。

質問：死んだ鳥を見つけたら、保健精神衛生局に連絡すべきでしょうか？

答え：ニューヨーク市保健精神衛生局はニューヨーク市民に市内で死んだ鳥、特にカラスとかアオカケスを発見した場合、**311**に電話をするか、**nyc.gov/health/wnv** からオンラインによって報告するよう奨励しています。これはウエスト・ナイル・ウイルスの活況観察作業の手助けとなります。個々の報告は全て観察作業のために重要ですが、衛生局では死んだ鳥の一部を収集するだけで、報告された死んだ鳥の全てを収集するわけではありません。もし衛生局から、報告後2日以内に死んだ鳥の収集に来るという連絡がない場合、死んだ鳥は処分して下さい。死んだ鳥は色々な病気を持っているので素手で触らないように気をつけて下さい。死んだ鳥を処分する時は、手袋をはめて、肌に触れないように注意

蚊の対策が万全なニューヨーク市

して、二重にしたビニールの袋に入れ、屋外のゴミ箱に処分します。

質問：ウエスト･ナイル・ウイルスは鳥から直接感染しますか？

答え：CDCの報告では、2002年に研究所の作業員が、ウイルスに感染して死んだ鳥を扱っている最中に怪我をし、ウイルスに感染したという例が1件あります。一般の人間がこのようにウエスト・ナイル・ウイルスに感染するということは極めて稀です。しかしながら、死んだ鳥や動物を扱う時は、必ず手袋をはめて、肌に触れないように注意して、二重にしたビニールの袋に入れ、屋外のゴミ箱に処分して下さい。

質問：蚊以外の昆虫やダニなどから直接ウエスト･ナイル・ウイルスに感染することはありますか？

答え：基本的にウエスト・ナイル・ウイルスに感染した蚊が、アメリカにおける最近の大量発生の原因となっています。アフリカやヨーロッパで数種のダニがウエスト・ナイル・ウイルスに感染した例はありますが、アメリカでダニや昆虫がウエスト・ナイル・ウイルスの感染源になった例はありません。

質問：ウエスト・ナイル・ウイルスの症状はどんな症状ですか?

答え：ウエスト･ナイル・ウイルスに感染した人の殆どは、全くその症状がないか、もしくは熱や頭痛、体の痛み等の軽い症状を覚えるだけで完治します。軽い発疹や、リンパ腺が腫れたりするケースもあります。人によって、特にお年寄りは、ウエスト・ナイル・ウイルスが脳や脊髄組織を侵し、深刻な病気を引き起こすことがあります。重症な症例としては、脳膜炎（脳の炎症）、髄膜炎（脳や脊髄の周りの膜の炎症）、急性弛緩性麻痺（筋肉が弱くなり麻痺するなど小児麻痺のような症状）が挙げられます。症状には頭痛、高熱、首のこり、錯乱、昏睡、身震い、痙攣、筋肉虚弱や麻痺などがあります。最も重い症状の場合、恒久的な神経障害や、死に至る場合もあります。

質問：妊婦や授乳中の女性がウエスト・ナイル・ウイルスに感染した場合、胎児も感染しますか？

答え：2002年にウエスト･ナイル･ウイルスが妊娠中の母親から胎児に感染したケースが1件あります。新生児は出生時からウエスト・ナイル・ウイルスに感染していて、脳の異常など深刻な医学的問題を抱えていました。しかし、これらの問題の原因がウエスト・ナイル・ウイルスなのか、他のものかは不明です。

2002年に分娩直後に輸血を受けた女性がウエスト・ナイル・ウイルスに感染し脳膜炎に発展したケースがあります。研究所の分析で、母親がウエスト・ナイル・ウイルスに感染したすぐ後に採取した母乳から、ウエスト・ナイル・ウイルスが検出されました。その女性は母乳で子供を育てており、出産からおよそ3～4週間後のその新生児のウエスト･ナイル・ウイルスの血液検査は陽性でした。新生児はほとんど屋外に出ていないことから、蚊による感染は考えられません。新生児はウエスト･ナイル・ウイルスの症状も出ず、健康に暮らしています。

妊婦や授乳中の女性は、蚊に刺されないような衣服を身に着け、DEETを含む虫除け薬剤を使用するなどして、できるだけウエスト・ナイル・ウイルス感染のリスクを減らすよう注意して下さい。米国疾病管理センター(CDC)によると、DEETを含む虫除け薬剤を使用しても妊婦や授乳中の女性に有害な作用を及ぼした報告はないとのことです。ウエスト・ナイル・ウイルスの感染がある地域で発生した場合、熱や他の病気を持つ妊婦や授乳中の女性は医師の診断を受けて下さい。

質問：ウエスト･ナイル・ウイルスの治療はどのように行われるのですか？

答え：特定の治療法はありません。感染した人のほとんどは自然に回復します。より深刻なケースでは、集中的かつサポート的な治療（例えば、入院、点滴や栄養補給、通気抗管理、必要であれば換気の維持（通風孔）、二次感染予防と適当な介護）が必要となります。

質問：ウエスト・ナイル・ウイルスのワクチンはありますか？

答え：ウエスト・ナイル・ウイルス用のワクチンは現時点ではありませんが、数社がワクチンを開発中です。

質問：感染した蚊に刺されてから、どのくらいで症状が出るのですか？

答え：ウエスト･ナイル･ウイルスに感染した人の多くは、症状が出ないか、軽い症状を訴えるだけです。もし発病するとすれば、感染した蚊にさされてから3日から15日で症状が現れてきます。

質問：もしウエスト・ナイル・ウイルスに感染したと思ったら、どうすればよいのでしょうか？

答え：発熱や筋肉虚弱、錯乱等の脳膜炎の症状が見られる場合は、直ちに医師の治療を受けて下さい。

質問：ウエスト・ナイル・ウイルスに感染しないようにするには、どうすればよいでしょうか？

答え：蚊が最も活発な6月から10月までの間、次のような予防策を取りましょう：

- 特に蚊が最も活発な夕暮れから夜明けの間、長ズボンや長袖のシャツ等の肌を保護する衣服を着用しましょう。
- 蚊がひそんでいる日陰や茂みを避けるようにしましょう。
- 夕方の戸外活動を減らしましょう。特に蚊が最も活発な夕暮れや夜明けの野外活動は避けるようにしましょう。
- DEETを含む虫除け薬剤を使用し、蚊にさされないようにしましょう。 *詳しい情報はニューヨーク市保健精神衛生局発行の Insect Repellent Use and Safety Fact Sheet (虫除け薬剤の使用と安全に関する情報シート)をご覧下さい。*

質問：家の周辺で蚊を防ぐために何かできることはありますか？

答え：蚊は溜まった水や水の流れが遅い場所に卵を産みます。また、雑草、伸びた草、茂みが蚊の生息場所となります。住宅地では、溜まり水は使っていないタイヤ、カン、使用してないプール、プールカバー、その他水が溜まる容器などにできやすいのです。蚊は網戸のない窓やドア、或いは壊れた網戸から家の中に入ってきます。水が溜まらないようにし、屋内への蚊の進入を防ぎましょう。

- **敷地内に水が溜まらないようにします。**
  - 敷地内から不用なタイヤを取り除いて下さい。
  - 空き缶、プラスチック容器、陶磁器の鉢や、その他水が溜まるような容器は全て処分して下さい。
  - 屋根の雨樋がきちんと流れるか、確認して下さい。春と秋には、つまった雨樋を清掃して下さい。
  - プール、屋外サウナ、浴槽は、きれいにして塩素消毒します。使っていない時は水をぬいて、ふたをするか、専用シートで覆っておきます。
  - プールカバーに溜まった水を取り除きましょう。
  - 鳥かごの水は、3〜4日おきに取り替えましょう。
  - プラスチックの水遊び用のプールや手押車は、使っていない時は逆さに伏せておきます。
- **破れたり穴のあいた網戸は、全て修理するか取り替えて下さい。**
- **住宅周辺での蚊の繁殖を防ぐために、近隣の人に働きかけたり、また協力し合うようにしましょう。**

近所の金物屋に、住宅周辺の溜まり水に使用するバシラス・サリンジエンシス・イスラエレンシス *Bacillus thuringiensis israelensis (BTI)* という殺虫剤を含んだ、「モスキート・ダンク(Mosquito Dunk®)」という製品を売っています。ニューヨーク市保健精神衛生局では蚊の繁殖地を減らすために、住宅周辺の溜まり水を除去することを奨励すると同時に、蚊の殺虫剤を直に扱うと、皮膚や目に炎症を起こす可能性があることを警告しています。これらの製品は製造会社の指示通りに使用して下さい。これらの製品を家庭での使用のために購入した場合は、危険表示や使用方法、また保管や取り扱いについての詳細を注意深く読むようにして下さい。

質問：ウエスト・ナイル・ウイルスの再発生防止に対して、ニューヨーク市ではどのように取り組んでいますか？

答え：ニューヨーク市保健精神衛生局では、他の市や州、連邦政府機関と協力して、ウエスト・ナイル・ウイルスによる病気の危険を縮小するために、総合的な対策案をまとめました。この案の主旨は、可能な限り、蚊の繁殖地を除去することで蚊の数を減らし、排水不可能なよどんだ水のある場所には、殺虫剤(蚊になる前のボウフラを殺すために)をまくということです。 また、 市では春から夏にかけて、ウエスト・ナイル・ウイルスに蚊や鳥が感染しているかどうかを、定期的に調査しています。もしウエスト・ナイル・ウイルスが人間の健康を脅かすレベルで確認された場合は、人への感染を防ぐために、局所的な殺虫剤の使用が行われるかもしれません。

質問：市では、以前と同じ方法で殺虫剤を使用することを計画しているのですか？

答え：もしウエスト・ナイル・ウイルスがニューヨーク市内で検出された場合、市が最初にするべきことは、蚊の繁殖地を減らし、ウエスト・ナイル・ウイルスが発見された地域の殺虫剤使用レベルを上げることです。人々が病気になる可能性を防ぐために

必要に応じて、米国環境保護局(EPA)によって認可されている殺虫剤（成虫用殺虫剤）が使用されます。殺虫剤散布を地上で行うか空中から行うかという決定は、ウエスト・ナイル・ウイルスに関する調査情報と、ウイルスの活況レベルに基づいてなされます。

質問：蚊の成虫用殺虫剤は、どのように人体やペットの健康を害するのですか？

答え：使用量が少量の場合、人体やペットに対する危険性は比較的少ないのですが、殺虫剤に敏感な人もいますので、殺虫剤との接触の可能性を少なくするために、後述の注意を守ることをお勧めします。殺虫剤の薬害反応が出た場合は、医師の手当てを受けるか、**311**に電話をするか、もしくはニューヨーク市毒物管理センターに連絡して下さい。電話番号は、**(212) POISONS** (764-7667)です。

質問：殺虫剤散布に関して、事前に住民に通知が出されるのでしょうか？

答え：公共アナウンス、マスコミ、市のウェブサイト**(nyc.gov/health/wnv)**、市のインフォメーション・ライン(電話番号**311**)を通して、事前に殺虫剤散布に関するスケジュールがわかります。ニューヨーク市保健精神衛生局では、殺虫剤散布の少なくとも24時間前には通知を出します。

質問：もし市が蚊の成虫殺虫剤を散布する場合、殺虫剤との接触の危険を少なくするために、散布中はどうしたらよいのですか？

答え：もし殺虫剤の散布が必要な場合、ニューヨーク市保健精神衛生局では、市民が殺虫剤に直接ふれないように、そして殺虫剤による反応の危険を最小限に食い止めるために、以下の予防策を奨励しています。

- 人によっては、殺虫剤に強く反応する場合があります。喘息や他の呼吸器系統の疾患がある人は特に、殺虫剤の散布により症状が悪化する可能性がありますから、殺虫剤の散布中は屋外に出ないようにして下さい。
- エアコンはつけたままでも構いませんが、殺虫剤との接触の可能性を少なくしたい場合、エアコンの通気孔を閉じるか再循環機能にしておいて下さい。
- 屋外の道具備品やおもちゃが殺虫剤を浴びた場合、殺虫剤に触れる可能性を少なくするために石鹸と水でよく洗って下さい。
- 皮膚や衣服に殺虫剤がついた場合は、石鹸と水でよく洗って下さい。

質問：もしウエスト・ナイル・ウイルスに感染した鳥や蚊の報告があった地域に住んでいて、蚊に刺された場合、発病しますか？

答え：人間への感染およびウエスト・ナイル・ウイルスによる発病の可能性は非常に低いということが確証されています。しかし、50歳以上の方々、特に65歳以上の方々は重症に陥る可能性が最も高いため、蚊に刺されないように細心の注意を払って下さい。

質問：蚊に刺されたのですが、ウエスト・ナイル・ウイルスの検査を受けるべきでしょうか？

答え：ウエスト・ナイル・ウイルスに感染した蚊の比率は大変低いのですが、高熱、錯乱、筋肉虚弱、激しい頭痛、首のこり、または目が光に対して過敏になる等の症状が出た場合は、医師の手当てを受けて下さい。

ウエスト・ナイル・ウイルスに関するさらに詳しい情報は 311まで電話をするか、nyc.gov/health/wnv をご覧下さい。

NYC Health
nyc.gov/health
NEW YORK CITY DEPARTMENT OF HEALTH AND MENTAL HYGIENE
Michael R. Bloomberg, *Mayor* Thomas R. Frieden, MD, MPH, *Commissioner*
July 2003 (Japanese)